

2012年(平成24年)1月28日(土曜日)

世界遺産保護を考える

金大でシンポジウム カンボジアの事例説明

カンボジアのアンコール地域社会を考える国際
シンポジウムが二十七日

日、現地で長年調査している金沢大(金沢市角間町)であった。

ユネスコや同国立アンコール遺跡整備公団の担当者が来日し、遺跡の修復などさまざまな課題を説明。金沢大の教員は、中国人旅行者の増加や熱帯林保全の現状を報告し

た。公団でインターンシップ(就業体験)をした在学生や同行の職員も発表した。

国際学類三年の畠中瞳さんは「現地の生活向上につながるような観光業の発展が重要」と訴え、学生課の辻谷友紀さんは観光情報を効果的に発信する多機能携帯電話(スマートフォン)用ソフトの開発を提案した。

(松本浩司)



公団が自らの声で伝えるために

アプリは以下のように動きませ The application moves as follows.

The example of contents

○The name of ruins

○History of ruins

Introduction of protection activities

Photograph

3. マークをクリックすると、観光情報とともに、様々な関連リンクを表示
A click of a mark will display various related links with sightseeing information.

KANAZAWA UNIVERSITY

効果的な観光情報の発信方法を提案する辻谷さん 金沢市角間町で